

安心と安全の横浜丘の手 港北ニュータウン

僕の生まれ育ちは水戸なので、小さい時から東京よりも横浜に憧れていました。商店街の呉服屋さんの親戚が横浜にあって、ちよくちよく遊びに出かけていました。当時は外国へも飛行機ではなくて、横浜から船でという時代でした。ソ連へ行く人を紙テープで送ったこともあって横浜の思い出はいっぱいあります。車も横浜ナンバーに憧れましたし(笑)。

住んでいた代々木からずっと通い詰めでしたよ(笑)。13年前に結婚し土地を探し、たまたまこの地主さんに出会えました。売ってもらえないと聞いていたのですが、女房と町内の行事にいろいろ参加してましたから、ここに腰を据えて、親戚付き合いをするならいいよという条件で、94坪売っていただけました。毎日のように建築現場を見て、ここはこんな風に、ここはアイールをつけてなど、注文しながら1年かけて竣工させました。パブルの後だったので幸運でした。



人が優先の安全で楽しいコミュニティ道路



せきれいの道沿いには多彩なレストランが並び

3人の子どもを育てるにも絶対でした。幼稚園から小・中学校まで隣り合っていて、運動会など数えきれないほど行きました。ニュータウンの中は公園や緑道が張り巡らされているので、子どもたちは車を気にせずに、せせらぎや畑などで道草をしながら学校に通ったり遊んだりすることが

横浜は以前から、港・横浜のイメージが強すぎて、この港北ニュータウンを横浜丘の手というイメージで確立させようとしているようですが、大事な都市の戦略でしょうね。再来年は横浜開港150周年だそうです、この丘の手で音と映像の催しができないか、市と相談をはじめようと思っています。



日本都市計画学会賞を受賞した美しいせせらぎ公園

僕の仕事は緑山とか砦のスタジオが多いので、車で1時間とかかりませんが京都市などへも新幹線の新横浜駅までとても近い。ニュータウンの地区内は道路が整備されていて移動がしやすいし、東名、第三京浜にもアクセスしやすく計画されている街ですから、羽田にもスムーズですし、成田だって湾岸道路を通れば交通渋滞にも煩わされずに行けます。また、地下鉄グリーンラインも開通するので、ますます便利な街になりそうですね。



渡辺 裕之
わたなべ ひろゆき
俳優

1955年茨城県生まれ。1982年、映画「オン・ザ・ロード」で主演デビュー。同年、「ファイト! 一発!」で有名な大正製薬「リガピタンD」のCMに起用され、1993年まで出演。一方、1986年にテレビドラマ「愛の嵐」の主演で一躍脚光を浴び、人気を博す。以降、映画、テレビ、オリジナルビデオで、主演から助演まで幅広く活躍し続け、現在に至る。

課題は、駅前などでは無電柱ですが、住宅地にはまだ電柱があります。それを除けば、港北ニュータウンは、いまの僕の家族にとっては100点満点に近い街ですね。(談)

”みんなで作らだす豊かさ”を 八王子みなみ野シティ

まち探訪

いきいき『新・郊外居住』

この地の固有の自然を活かし、五山五丘三溪一流をコンセプトとして都市づくりがすすめられていること、八王子みなみ野シティで、里山文化の継承・発展、まちづくり、新たな生活文化の創造をテーマに、先祖以来住み続けてきた先輩住民の方々と、新しくこの街に移り住んだ皆さんとの交流を軸にして、自然と農の学校「みなみ野自然塾」を続けています。最初は、UR都市機構が街のコミュニティを創る仕掛けとして立ち上げて、その後平成14年、活動開始5年目に私たち住民の手に移りました。ちょうどその時に、「緑の都市賞」内閣総

理大臣賞を受賞したのです。広く社会的にも認知されて、活動に大きな弾みをつけることができました。

いまは八王子市の公園アドプト制度のもと、柵谷戸公園と宇津貫緑地を中心に、柵田での稲作、段々畑での畑作、雑木林の再生、潜在自然植生の研究、自然調査などを行っています。地元小学校の全校児童も自然塾と協働して、学年に応じて活動を行っています。これも里山の継承を総合学習の一環とする校長先生の理解と先生方の協力があってこそです。



ゆるやかに斜面が広がる 柵谷戸公園

お正月の山開きからはじまる年中行事、田植えから稲刈り、お餅つき、野菜づくり、沢庵づくり、そして蚕の蘇生まで、塾生であるお父さんお母さんごもたちが、家族で参加して、ピクニックのように楽しく、たくましく続けています。つい先日、



梅林を背景に段々畑での畑作



鮮やかな新緑に囲まれて 柵田での田植え

自然塾のOBに駅前でも偶然会ったのですが、渋柿にビックリしたこと、はじめてカブトムシをとったことなど、自然塾での思い出を語ってくれて嬉しかったですね。



子どもたちといっしょに 里山の自然調査

尊敬できるのは地域の先輩方です。同じ街の中の数百メートルも離れていない谷戸でも田植えの適期が違うこと、水の出る水脈のありかなどをご存知です。みんな理にかなない、しかも身に備わった知識で、地域の自然と共に生きてこられた方の深い知恵と確かな技にはいつも頭が下がります。

もうひとつ感心するのは、街の暮らしの中心である多くの女性の存在です。私たちはボランティアではない、自分が生活する街として当然のことをやっているのよとおっしゃるのです。実は私の家でも、先に妻と子どもがこの活動に参加し、あとで覗いてみたのが私でした。いまはこんな役目をするようになりました。女性は日々の暮らしのなかから時代の風をいち早く感じとって行動するのでしょうか。



荒井 嘉夫
あらい よしお
みなみ野自然塾 代表

みなみ野自然塾
2002年「緑の都市賞」内閣総理大臣賞受賞
2004年「日本の里山里山 保全活動コンテスト」の受賞団体30に選定 / 「JA日本の農の風景・景観コンテスト」実行委員長賞を みなみ野小学校と共同受賞
2005年「関東富士見百景」に柵谷戸公園が選定
URL : <http://shizenju.hp.infoseek.co.jp/>

かに響き合っているような街です。しかも年々人口が増え続け、八王子のなかでも活力が溢れている街です。それにも拘らず、自然環境は保全され継承され、同時に創造されていく、本当に明日が楽しみな街ですね。(談)